



ROCK PAINT

カチオン型合成樹脂エマルジョンシーラー

ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト

素地や旧塗膜によく浸透し、
上塗り塗料が幅広く適用できる
環境対応型の水性シーラーです。

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

「ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト」は、
カチオン系アクリルシリコンハイブリッド樹脂をベースとしたエマルジョンシーラーです。
浸透性にすぐれ、塗膜が自己架橋するため付着性が大変すぐれます。

特長

●環境対応型

TVOC（全揮発性有機化合物）を1%未満に抑えた水性タイプですので、扱いやすくなっています。

●すぐれた付着性

旧塗膜や素地によく浸透し、付着性にすぐれています。

●幅広い塗装適性

水性のため、溶剤系シーラーでは旧塗膜のちぢみが発生しやすい条件でも安心して使用できます。また上塗り塗装も水性塗料から弱溶剤型塗料まで幅広く使用できます。

適応素材

- 屋内外部コンクリート、モルタル、フレキシブルボード、けい酸カルシウム板*、窯業系サイディングボードなど

※けい酸カルシウム板は素材、劣化度合いにより、付着不良を起こす場合がありますので試し塗りを行った後、仕様を決めてください。

適応旧塗膜

- 各種水性仕上材、弾性系仕上材、吹付けタイル、リシン、溶剤型アクリル、ウレタン系塗膜、塩ビ系塗膜

ロックペイント 株式会社

ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト

カチオン型合成樹脂
エマルジョンシーラー

標準塗装仕様 (塗り替え)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	033-1160 ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト	水	ハケ・ローラー : 0(通常不要) エアレス : 0(通常不要)	1	0.09~0.13	3時間以上
適応上塗り塗料	水性塗料 : ハイパービルロックセラ(111L)、サンフロンアクア(081L)、ピニロックウレタン(108L)、ユニロックハイグロス(072L)、水性エパーロック(092L)、ピニロックシリーズ(031、032L)、ユニロックV.O-II(075L)など 弱溶剤塗料 : ハイパーユメロック(114L)、ユメロック(114L)、サンフロンUV(081L)、1液ユメロックDX(024L)など					

*仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスや考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。
*旧塗膜は活膜であることが前提です。*適応上塗り塗料の詳細な使用方法、注意事項については、それぞれのカタログをご参照ください。

塗布面積

115~165m²/15kg・回

品番・容量

033-1160 ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト 15kg

施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノックプライマーS」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離はがれ・割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることをお奨めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノックプライマーS」は塗装しないでください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 塗装面の取り合い等で可塑剤が多く含まれる建材(塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなど)への直接の塗装は塗膜が軟化することがあり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他の断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 笠木、天端など長時間水の滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 比較的緻密な素材である押出成形板やGRC板へ塗装する場合は、ユメロックシーラー、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアクアを下塗りとして使用してください。
- フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒処理のサイディングボードには、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアクアを下塗りに使用してください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 屋外セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- カチオン系シーラーと上塗り塗料を混合するとゲル化して使用できなくなります。また塗装用具を共用することも避けてください。
- さげ缶などはプラスチック容器を使用してください。金属類は錆が発生するおそれがあります。
- 塗装作業中および乾燥中は換気が十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落してください。乾くと落ちにくくなります。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りをお奨めします。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスや考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- けい酸カルシウム板へ塗装する場合は、種類、劣化度合いによっては粘着剤の強いテープにより、塗膜が多少剥離する場合がありますので注意してください。
- このカタログに記載されている上塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上および取扱上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- 危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。
- (救急処置)
- 目に入った場合には多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。

〔施工後の安全性について〕

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施工に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

〔取扱の注意事項〕

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱い中はできるだけ皮膚に触れないようし、必要に応じて保護手袋、保護メガネ、保護マスクを着用してください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業着等に付着した汚れをよく落とすしてください。
- よくふたをし直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

*安全データシート(SDS)をよく読んでからご使用ください。

ロックペイント株式会社

販売店

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000

札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304

名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市中区福川町1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433

仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 渡正ビル201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255

岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1-000番34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966

西関東営業部 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

*本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

2024.1.S(033-C07)